

事務事業名	木材利用促進事業補助金	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
政策名	総合計画体系 (V) 賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	森林バイオマスグループ	課長名	高野耕治
施策名	(34) 林業の振興	担当者名	佐藤伊知郎	電話番号 (内線)	0854-40-1051 3704
基本事業名	(100) 木材生産の拡大	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 310 110 115 511	雲南市木材利用促進事業補助金	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23年度 ~ 25年度)	雲南市産材を含めた県産材を構造材に50%以上使用して雲南市内に自ら居住するための住宅を新築、増改築を行う者に対して、使用する雲南市産材1㎡当たり2万円かつ1戸当たり20万円を上限に助成する。	木材の利用促進と適切な供給を通じ、林業の持続的かつ健全な発展を図ることを目的として、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が制定され、平成22年10月より施行されている。この中で地方公共団体の責務として、公共建築物における木材の利用に努めるとともに、木材の利用促進に関する施策を実施することが規定されている。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	補助金交付申請件数 13件 雲南市産材利用量 101㎡ 補助金額 1,673千円	事業費	国庫支出金 千円	県支出金 千円	地方債 千円	その他 千円	一般財源 千円	事業費計(A) 千円	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	①事業周知 ②補助申請審査 ③補助決定 ④完了検査 ⑤補助金支払い	人件費	正規職員従事人数 人	延べ業務時間 時間	人件費計(B) 千円	トータルコスト(A)+(B) 千円			0	0	1,673	5,000	5,000	11,673

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ・事業周知 ・補助申請の審査 ・補助金決定(現場確認) ・補助金支払い 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 前年度と同じ	⑤ 活動指標							
		ア 交付申請数	件			13	25	25	25
		イ 雲南市産材利用量	㎡			101	250	250	250
		ウ 市内の島根県木材協会会員	社			25	25	25	25
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	市民	⑥ 対象指標				41,159	41,032	40,650	40,650
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	市民が建築する住宅に市産材を利用する。	ア 市産材利用量	㎡			101	250	250	250
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	木材生産量を拡大する。	ア 木材生産量	㎡	7,626	5,273	10,073	10,000	10,000	10,000

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
本事業と同様な事業が県内の他市町村でも取組まれ、事業に寄せる期待が高まっている。	特になし	市内製材業者などから事業の継続が望まれている。

事務事業名	木材利用促進事業補助金	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 本事業を実施することで、市内の木材生産の拡大につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 関係法令により、木材の利用促進に関する施策を実施することが規定されている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象は、自ら居住するための住宅を新築、購入又は増築する場合に限定しているため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 補助率、補助対象とも適切であり、向上余地がない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 市産材の利用効果が減少するため、廃止・休止をした場合、大きな影響を受ける。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 補助率、補助対象とも近隣の市町村と比較しても適正な規模であり、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 定められた業務を適切に実施しており、これ以上の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市内に居住する者を対象としているため、公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業開始初年度で当初見込みより申請件数が少なかったため、引き続き事業の周知を図る必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
特になし。																							